

## 2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月14日

上場会社名	株式会社やまみ	上場取引所	東
コード番号	2820	URL	http://www.yamami.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)山名 徹	
問合せ先責任者	(役職名)管理本部長	(氏名)六車 祐介	(TEL)0848(86)3788
四半期報告書提出予定日	2023年2月14日	配当支払開始予定日	2023年3月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 有（アナリスト向け）		

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年6月期第2四半期の業績（2022年7月1日～2022年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	7,838	13.0	504	△10.2	521	△8.4	352	△6.2
2022年6月期第2四半期	6,934	—	562	52.2	569	48.8	376	44.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	50.62	—
2022年6月期第2四半期	53.97	53.94

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期会計期間の期首から適用しております。このため、2022年6月期第2四半期の売上高の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	14,194	7,937	55.9
2022年6月期	13,414	7,685	57.2

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 7,943百万円 2022年6月期 7,675百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2023年6月期	—	14.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	18.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年6月期の業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	8.6	905	0.3	920	1.9	700	15.4	100.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	6,967,500株	2022年6月期	6,967,500株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	205株	2022年6月期	205株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	6,967,295株	2022年6月期2Q	6,967,295株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る政府による行動制限の解除以降、ウィズコロナの下で、徐々に経済活動が正常化に向かい、景気は穏やかに持ち直しの動きが見られたものの、原材料・エネルギー価格の高騰や円安等の為替動向の懸念、物価上昇等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。また、世界経済につきましても、ウクライナ情勢の長期化や中国のコロナ感染者の急増による景気への影響、全世界的なインフレ局面から景気後退局面への転換懸念により、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属します食品製造業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響によってもたされた巣ごもり消費による内食需要が落ち着きを見せてきており、主原料の大豆や油脂、包材などの原材料価格の高騰に加え、都市ガス、電気などのエネルギーコストの上昇もあり厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社は全従業員を対象に「改善提案活動」を実施し、全工場でコスト削減に取り組んでおります。また、各販売先様には、納入価格の改定をお願いし実施させて頂いておりますが、製品製造における急激な仕入れ単価上昇分をすべて転嫁には至っておりません。引き続き省エネルギー・ローコスト運営の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいります。商品構成におきましては、国内産大豆による高付加価値商品への切り替え、特においしさと素材にこだわった「北海道産とよまさり大豆シリーズ」が好評を博し、更なる商品力の強化と差別化を図っております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高は7,838百万円と前年同四半期と比べ903百万円(13.0%)の増加となりました。

利益につきましては、営業利益は504百万円と前年同四半期と比べ△57百万円(△10.2%)の減益、経常利益は521百万円と前年同四半期と比べ△47百万円(△8.4%)の減益、四半期純利益は352百万円と前年同四半期と比べ△23百万円(△6.2%)の減益となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して779百万円増加し、14,194百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して939百万円増加し、3,087百万円となりました。これは主に売掛金が820百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末と比較して159百万円減少し、11,106百万円となりました。これは建物及び構築物が88百万円減少したこと等によるものです。

##### (負債の部)

当第2四半期会計期間末における総負債は、前事業年度末と比較して527百万円増加し、6,256百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して797百万円増加し、3,614百万円となりました。これは主に買掛金が385百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比較して269百万円減少し、2,642百万円となりました。これは主に長期借入金が255百万円減少したこと等によるものです。

##### (純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して251百万円増加し、7,937百万円となりました。これは主に、利益剰余金が262百万円増加したこと等によるものです。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比較して67百万円増加し、228百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、525百万円（前年同四半期は863百万円の収入）となりました。

これは、支出要因として売上増加に伴う売上債権の増加820百万円等があった一方で、収入要因として税引前四半期純利益530百万円、減価償却費713百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、264百万円（前年同四半期は280百万円の支出）となりました。

これは、設備投資等により、有形固定資産の取得による支出264百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、192百万円（前年同四半期は559百万円の支出）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出292百万円等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績および今後の見通しを踏まえ、2022年8月9日付「2022年6月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表した通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2023年2月14日）公表の「2023年6月期第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異および通期業績予想ならびに配当予想の上方修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断される一定の前提に基づくものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	160,848	228,658
売掛金	1,594,643	2,415,635
商品及び製品	55,703	58,794
原材料及び貯蔵品	282,653	368,005
その他	54,315	16,334
流動資産合計	2,148,165	3,087,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,085,971	3,997,701
機械装置及び運搬具(純額)	4,876,938	4,825,347
土地	2,126,946	2,126,946
建設仮勘定	84,670	67,500
その他	24,111	21,256
有形固定資産合計	11,198,637	11,038,751
無形固定資産	8,158	6,477
投資その他の資産	59,277	61,420
固定資産合計	11,266,073	11,106,648
資産合計	13,414,238	14,194,077
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	984,004	1,369,142
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	550,858	513,748
未払金	583,405	806,857
未払法人税等	211,051	199,084
未払消費税等	—	15,996
賞与引当金	11,170	11,270
その他	276,746	298,439
流動負債合計	2,817,236	3,614,538
固定負債		
長期借入金	2,357,169	2,101,965
リース債務	396,927	384,903
繰延税金負債	116,137	115,777
その他	41,405	39,616
固定負債合計	2,911,638	2,642,261
負債合計	5,728,875	6,256,800

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,245,724	1,245,724
資本剰余金	1,218,724	1,218,724
利益剰余金	5,211,472	5,473,607
自己株式	△443	△443
株主資本合計	7,675,478	7,937,614
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	485	△336
評価・換算差額等合計	485	△336
新株予約権	9,398	—
純資産合計	7,685,363	7,937,277
負債純資産合計	13,414,238	14,194,077

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
売上高	6,934,841	7,838,539
売上原価	5,383,260	6,261,718
売上総利益	1,551,581	1,576,820
販売費及び一般管理費		
荷造運賃	710,800	774,704
広告宣伝費	18,849	19,339
販売手数料	56,621	66,258
給料及び賞与	97,174	95,326
賞与引当金繰入額	1,230	1,670
減価償却費	1,651	1,393
その他	102,978	113,427
販売費及び一般管理費合計	989,304	1,072,119
営業利益	562,276	504,701
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	66	82
助成金収入	10,024	1,801
自動販売機収入	2,665	2,591
スクラップ売却収入	837	1,579
受取保険金	—	20,976
その他	1,467	965
営業外収益合計	15,062	27,997
営業外費用		
支払利息	6,890	10,703
その他	1,286	394
営業外費用合計	8,177	11,097
経常利益	569,161	521,600
特別利益		
新株予約権戻入益	164	9,398
特別利益合計	164	9,398
税引前四半期純利益	569,325	530,999
法人税等	193,310	178,289
四半期純利益	376,015	352,710



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	569,325	530,999
減価償却費	788,285	713,565
賞与引当金の増減額(△は減少)	210	100
受取利息及び受取配当金	△67	△83
支払利息	6,890	10,703
新株予約権戻入益	△164	△9,398
売上債権の増減額(△は増加)	△532,115	△820,991
棚卸資産の増減額(△は増加)	△32,995	△88,443
仕入債務の増減額(△は減少)	214,135	385,137
未払金の増減額(△は減少)	55,634	△65,806
未払又は未収消費税等の増減額	△143,442	60,921
その他	△12,418	27,934
小計	913,277	744,639
利息及び配当金の受取額	67	83
利息の支払額	△6,809	△10,788
法人税等の支払額	△42,891	△208,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	863,644	525,548
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	55,072	—
有形固定資産の取得による支出	△334,593	△264,528
無形固定資産の取得による支出	△530	—
投資有価証券の取得による支出	△346	△360
その他	△267	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280,665	△264,819
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△475,720	△292,314
リース債務の返済による支出	△583	△11,670
配当金の支払額	△83,645	△88,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	△559,949	△192,918
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,029	67,809
現金及び現金同等物の期首残高	248,947	160,848
現金及び現金同等物の四半期末残高	271,977	228,658

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。